



## 麻疹とは

麻疹ウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症として知られています。麻疹ウイルスの感染経路は、空気感染、飛沫感染、接触感染で、ヒトからヒトへ感染が伝播し、その感染力は非常に強いとされています。(麻疹の免疫がない集団に1人の発症者がいたとすると、12~14人の人が感染するとされています。\*インフルエンザでは1~2人)

免疫を持っていない人が感染するとほぼ100%発症し、一度感染して発症すると一生免疫が持続すると言われています。

## かかった場合

感染すると約10日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れます。2~3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。肺炎、中耳炎を合併しやすく、患者1000人に1人の割合で脳炎が発症すると言われています。死亡する割合も、先進国であっても1000人に1人とされています。その他の合併症として、10万人に1人程度と頻度は高くないものの、麻疹ウイルスに感染後、特に学童期に亜急性硬化性全脳炎(SSPE)と呼ばれる中枢神経疾患を発症することもあります。

海外に行く方へ

みんなで目指そう  
**『麻しんがゼロ』**

麻疹(はしか)にかかったことが明らかでない場合

海外に行く前に 麻しんの予防接種を母子手帳などで確認し、2回接種していない方は予防接種を検討してください。

帰国した後に 帰国後2週間程度は健康状態に注意しましょう。

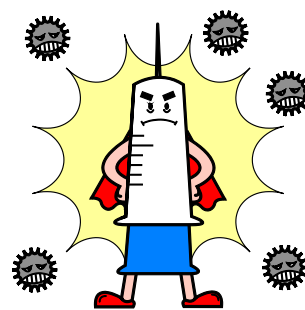
麻疹とは

高い感染力で空気感染、飛沫感染、接触感染による感染が容易で、一度感染すると終身免疫が持続する。重症化しないが、脳炎、中耳炎、肺炎、SSPE(亜急性硬化性全脳炎)などの合併症を引き起こす。

世界には麻疹が流行している国・地域があります。

### 予防方法

麻疹は、接触、飛沫、空気（飛沫核）のいずれの感染経路でも感染します。麻疹ウイルスの直径は100～250nmであり、飛沫核の状態で空中を浮遊し、それを吸い込むことで感染しますので、マスクでの予防



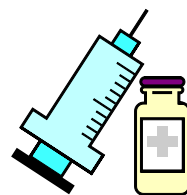
は難しくなります。唯一の予防方法は、ワクチン接種によって麻疹に対する免疫をあらかじめ獲得しておくことです。麻疹含有ワクチン（主に接種されているのは麻疹風疹混合ワクチン）を接種することによって、95%以上の方が麻疹ウイルスに対する免疫を獲得できると言われています。また、2回の接種を受けることで1回の接種では免疫が付かなかった方の多くに免疫をつけることができます。

参考・引用：NIID 国立感染症研究所

厚生労働省

今年も、各地で「麻疹の患者さんが確認された」というニュースがありました。海外から、又は、海外に渡航される方が増え、ウイルスを持ち込む機会が増えたとされます。

罹患歴の無い方は、ワクチンで免疫を獲得しておくとお安心ですね。



麻疹抗体検査は、当院で行っています。ワクチンの接種におきましては、現在、流通面で非常に品薄な状態です。ご希望の場合は、お問合わせ下さい。